

アメリカ合衆国

大統領 バラク・オバマ殿

## アメリカの未臨界核実験に抗議する

2012年9月24日

全国保険医団体連合会

非核平和部長 永瀬 勉

アメリカ・エネルギー省の国家核安全保障局（NNSA）は、今年4～6月にニューメキシコ州サンディア国立研究所で、強力なエックス線を使って未臨界核実験を実施したと報道された。私たち人命を守る医師・歯科医師は、新しい核実験の実施に強く抗議するとともに、直ちに同実験を中止するよう求める。

世界はいま、核兵器廃絶に向けて大きく動いている。昨年11月には赤十字国際会議が「核兵器廃絶に向けた努力を」と題する決議を採択し、12月には第66回国連総会で、核兵器禁止条約の交渉開始を求める決議が130カ国の賛成で採択、来年3月には、ノルウェー政府主催で「核兵器の人的結末」をテーマに国際会議が開催される予定である。

今回の新型核実験は2010年11月から実施されているもので計5回目にあたる。「核なき世界」に向けた国際社会への働きかけ」を表明し、ノーベル平和賞も受賞したオバマ政権は、核保有国を代表して核兵器廃絶の先頭に立つべきである。昨年、福島原発事故で放出されたばく大な放射線の不安に苦しむ日本国民および日本の医師・歯科医師の願いとして、貴国に対し、核兵器の開発計画を取りやめ、国連での包括的核実験禁止条約の批准、そして核兵器全面禁止条約の実現を目指すよう求める。